

For Earth, For Life
Kubota

ON YOUR SIDE

連結決算説明 2020年12月期

(株)クボタ 取締役副社長執行役員 企画本部長
吉川 正人

2021年2月22日 (月)



2020年12月期連結決算概要

(億円)	2020年12月期	2019年12月期	増減		直近予想比増減 (2020年11月)	
			金額	%	金額	%
売上高	18,532	19,200	▲ 668	▲ 3.5	+ 232	+ 1.3
国内	5,952	6,254	▲ 302	▲ 4.8	+ 47	+ 0.8
海外	12,580	12,947	▲ 366	▲ 2.8	+ 185	+ 1.5
営業利益	9.5% 1,753	10.5% 2,017	▲ 264	▲ 13.1	+ 53	+ 3.1
税引前利益	10.0% 1,859	10.9% 2,090	▲ 231	▲ 11.1	+ 59	+ 3.3
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6.9% 1,285	7.8% 1,491	▲ 205	▲ 13.8	+ 35	+ 2.8

	2020年12月期	2019年12月期	増減
ROE	8.8%	10.7%	▲ 1.9P

事業セグメント別売上高

(億円)	2020年12月期	2019年12月期	増減	
			金額	%
機械	15,088	15,583	▲ 496	▲ 3.2
国内	2,929	3,063	▲ 134	▲ 4.4
海外	12,159	12,520	▲ 361	▲ 2.9
水・環境	3,158	3,301	▲ 143	▲ 4.3
国内	2,740	2,878	▲ 139	▲ 4.8
海外	418	423	▲ 4	▲ 1.0
その他	287	316	▲ 30	▲ 9.3
国内	283	312	▲ 29	▲ 9.3
海外	4	4	▲ 1	▲ 13.3
売上高合計	18,532	19,200	▲ 668	▲ 3.5

国内売上高	5,952	6,254	▲ 302	▲ 4.8
海外売上高	12,580	12,947	▲ 366	▲ 2.8

為替の影響（▲230億円）を除くと、機械海外は▲1%の減。
海外売上全体は▲1%の減



機械 ▲496億円（国内：▲134 海外：▲361）

※内、新型コロナウイルスの影響は▲930億円程度と試算
（工場の稼働停止などに伴う生産や出荷遅れの影響を含む）

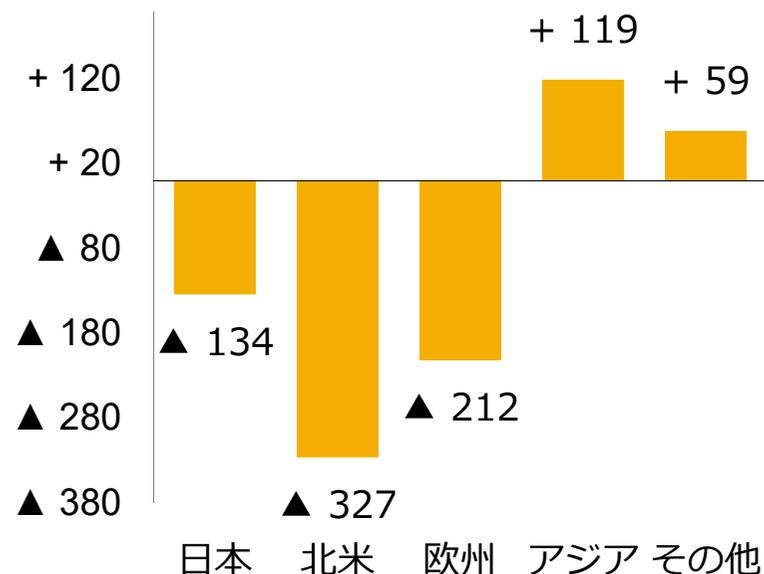
日本

- 農機、建機とも消費増税前の駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う営業活動自粛や需要低迷の影響により減

北米

- トラクタ、建機の小売は好調に推移するも、新型コロナウイルスの影響に伴う生産・出荷遅れにより卸売は減
- なお、建機については台風の影響により、2018年後半の出荷が2019年前半にずれ込んでいたことの反動も影響
- その結果、2020年12月末の米国のディーラー在庫は3.3カ月分と極めて低い水準に留まる

■ 機械仕向地別売上増減（億円）





機械 ▲496億円（国内：▲134 海外：▲361）

※内、新型コロナウイルスの影響は▲930億円程度と試算
（工場の稼働停止などに伴う生産や出荷遅れの影響を含む）

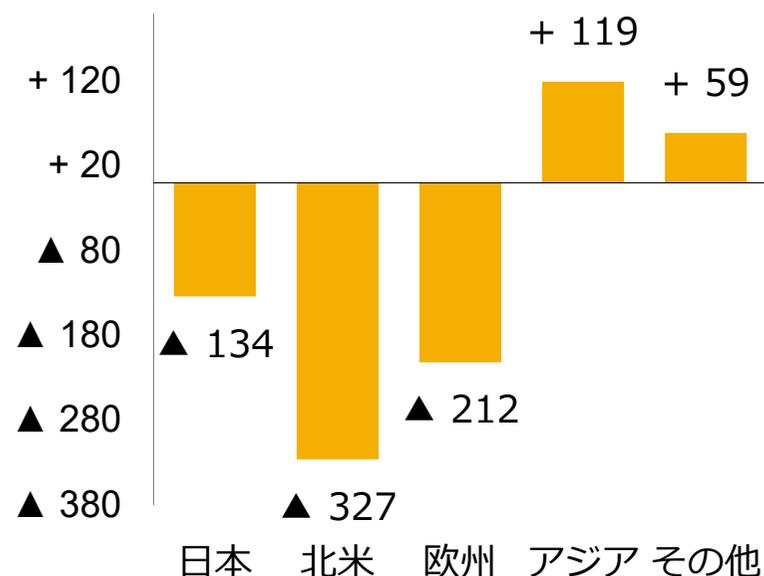
欧州

- ・ トラクタ、建機ともに新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年前半にディーラーが営業を停止していたことなどにより減

アジア

- ・ タイのトラクタの小売は回復するも、ディーラー在庫を調整した影響により卸売は減
- ・ ミャンマーは現地通貨高が進んだことなどにより大幅増
- ・ 中国の農機は、新型コロナウイルス感染拡大による市場低迷から早期に回復。汎用コンバインの新機種投入効果もあり増。エンジンも建産機市場の急回復を受けて大幅増
- ・ インドの農機も良好な雨期の降雨や政府の農家支援策により大幅増

■ 機械仕向地別売上増減（億円）





水・環境 ▲143億円（国内：▲139 海外：▲4）

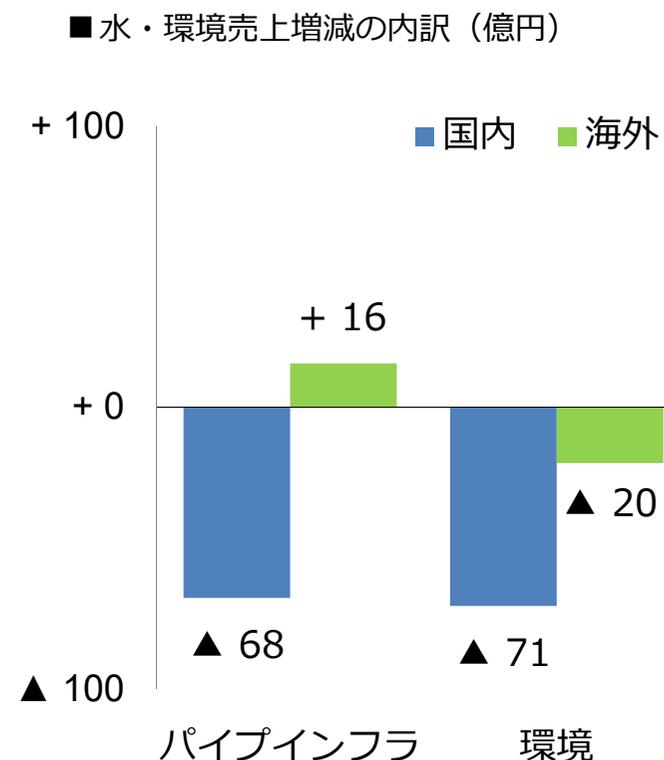
※内、新型コロナウイルスの影響は▲120億円程度と試算

国内

- パイプインフラ関連は、鉄管や工事が増加するも、新型コロナウイルス感染拡大の影響により合成管、素形材、鋼管、空調機器などが減
- 環境関連は、大型案件である福島県双葉町での廃棄物処理施設の建設に伴う売上が一巡したことにより減

海外

- パイプインフラ関連は、鉄管や素形材が増
- 環境関連は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ODA案件が遅延し、海外EPCなどが減



(億円)	2020年12月期		2019年12月期		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	1,753	9.5	2,017	10.5	▲ 264	▲ 13.1

営業利益（▲264億円）の増減要因

1.為替変動	米ドル(109円→107円 ※1) ユーロ(122円→122円 ※1) 他	▲55億円 ▲15億円 ▲45億円	▲115億円
2.為替差損益			▲9億円
3.原材料	機械（鋼材、関税、買入部品 他） 水・環境（レジン、スクラップ、コイル 他）	+30億円 +30億円	+60億円
4.インセンティブ率変動	北米+72億円 他		+70億円
5.増減販			▲160億円
6.製品値上げ			+80億円
7.その他			▲190億円

※1：但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル110円→108円、ユーロ124円→121円程度

事業セグメント別営業利益

(億円)		2020年12月期	2019年12月期	増減
機械	売上高	15,088	15,583	▲ 496
	セグメント利益	1,796	2,031	▲ 234
	利益率	11.9%	13.0%	▲ 1.1P
水・環境	売上高	3,158	3,301	▲ 143
	セグメント利益	259	281	▲ 22
	利益率	8.2%	8.5%	▲ 0.3P
その他	売上高	287	316	▲ 30
	セグメント利益	38	36	+ 2
	利益率	13.4%	11.4%	+1.9P
全社/消去	セグメント利益	▲ 341	▲ 332	▲ 9
計	売上高	18,532	19,200	▲ 668
	営業利益	1,753	2,017	▲ 264
	利益率	9.5%	10.5%	▲ 1.0P

株主還元推移

(億円)	2016年 12月期	2017年 12月期	2018年 12月期	2019年 12月期	2020年 12月期	増減	累計 (5年)	
	米国基準		IFRS					
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (1株当たり)	1,325 (106.58円)	1,364 (110.30円)	1,386 (112.44円)	1,491 (121.59円)	1,285 (105.85円)	▲ 205 (▲15.74円)	6,851	
還元額	配当 (1株当たり)	373 (30円)	395 (32円)	419 (34円)	441 (36円)	436 (36円)	▲ 4 (+0円)	2,064
	自己株消却 (百万株)	60 (3.8百万株)	132 (7.1百万株)	29 (1.5百万株)	196 (12.0百万株)	199 (12.0百万株)	+ 3 (+0.0百万株)	615
	還元額計	433	527	448	636	635	▲ 2	2,679
配当性向	28%	29%	30%	30%	34%	+ 4P	30%	
総還元性向	33%	39%	32%	43%	49%	+ 7P	39%	

株主還元の中長期目標

- 総還元性向40%以上を目標とし、50%をめざす
- 取得した自己株式については、即消却を継続する

財政状態計算書

(億円)	2020年12月期 期末	2019年12月期 期末	増減	為替を除く 増減
現金及び現金同等物	2,229	1,997	+ 233	
営業債権	5,920	6,826	▲ 906	▲ 770
金融債権	11,250	9,932	+ 1,318	+ 1,910
棚卸資産	3,740	3,824	▲ 84	▲ 10
その他	8,754	8,815	▲ 61	
資産合計	31,893	31,393	+ 500	
有利子負債	8,744	9,030	▲ 285	+ 110
営業債務	3,236	2,938	+ 298	
その他	4,171	4,053	+ 117	
負債合計	16,151	16,021	+ 130	
親会社の所有者に帰属する持分	14,760	14,428	+ 332	
非支配持分	981	944	+ 38	
資本合計	15,742	15,372	+ 370	
負債及び資本合計	31,893	31,393	+ 500	
DEレシオ (ネット)	0.44	0.49	▲ 0.05	
金融を除くDEレシオ (ネット)	▲ 0.30	▲ 0.14	▲ 0.16	

キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2020年12月期	2019年12月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,429	824	+ 605
金融債権の増加	▲ 1,853	▲ 970	▲ 883
その他	3,282	1,794	+ 1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 471	▲ 915	+ 443
有形固定資産及び無形資産の取得	▲ 848	▲ 949	+ 101
その他	376	34	+ 342
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 684	▲ 215	▲ 468
為替レート変動の現金及び現金同等物に対する影響	▲ 42	11	▲ 53
現金及び現金同等物の純増減	233	▲ 295	+ 527
フリーキャッシュ・フロー	582	▲ 124	+ 706
フリーキャッシュ・フロー（金融債権の増減を除く）	2,434	845	+ 1,589

金融事業の状況 <ご参考（非監査）>

財政状態計算書

(億円)	2020年12月期 期末		2019年12月期 期末	
	金融事業	金融事業を除く ベース	金融事業	金融事業を除く ベース
資産合計	13,174	20,973	11,812	20,482
現金及び現金同等物	249	1,980	198	1,798
営業債権	332	5,604	293	6,557
金融債権	11,250	-	9,932	-
棚卸資産	-	3,740	-	3,824
有形固定資産	12	4,235	5	4,049
その他	1,331	5,414	1,384	4,254
負債合計	11,153	7,078	9,965	6,786
有利子負債	10,564	-	9,380	-
その他	590	7,078	584	6,786
資本合計	2,021	13,895	1,847	13,697

損益計算書（金融事業）

(億円)	2020年12月期	2019年12月期	増減	
	金額	金額	金額	%
売上高	792	760	+ 31	+ 4.1
営業利益	328	253	+ 75	+ 29.7
親会社の所有者に帰属する	25.1%	20.3%		
当期利益	199	154	+ 44	+ 28.7

機械事業の市場環境

米国

トラクタ、建機の小売は郊外移住の動きなどにより高水準を維持するものの、巣ごもり需要の影響が徐々に弱まり、年間では微減を想定。一方で、卸売はディーラー在庫の補充により各製品で大幅増を見込む

トラクタ小売

小型は、年前半は好調が持続するものの、年後半には巣ごもり需要の影響が弱まり、年間では微減を見込む。中型は60馬力以下では昨年の反動減を想定するものの、60馬力以上の増加により微増。大型は農家向けの政府支援策がなくなる可能性があることを考慮し微減を想定

建機/小売

MB、CTLは旺盛な住宅需要を背景に高水準の需要が続くものの、前年の大幅増の反動により微減を見込む。各社とも供給能力が回復することから、厳しい競争環境を想定

トラクタ・建機 / 卸売

昨年末のディーラー在庫は3.3カ月と歴史的低水準。昨年の生産・出荷遅れを挽回することにより、各製品とも大幅な増販を目指す

エンジン/卸売

冷凍トラックや建産機向けを中心に昨年の需要低迷から回復し、大幅増を見込む

機械事業の動向（米国） - 補足データ

■ トラクタ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2019年	0-40馬力	+ 9.7%	+ 4.9%	+ 6.4%	▲ 0.1%	+ 6.4%	+ 6.4%	+ 5.0%
	40-120馬力	▲ 0.8%	▲ 0.2%	+ 7.2%	▲ 4.1%	▲ 0.4%	+ 2.2%	+ 0.5%
	120-160馬力	▲ 5.7%	+ 2.3%	+ 16.6%	▲ 0.4%	▲ 1.0%	+ 4.8%	+ 3.3%
2020年	0-40馬力	▲ 8.9%	+ 24.0%	+ 28.2%	+ 33.3%	+ 13.3%	+ 18.0%	+ 21.0%
	40-120馬力	▲ 5.1%	+ 13.9%	+ 17.1%	+ 21.6%	+ 6.5%	+ 10.3%	+ 13.1%
	120-160馬力	▲ 14.1%	+ 9.2%	▲ 10.4%	+ 8.8%	▲ 0.1%	▲ 3.9%	▲ 0.3%

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 0-8tバックホー市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2019年		+ 2.7%	+ 7.4%	+ 11.0%	+ 25.0%	+ 5.6%	+ 7.4%	+ 11.7%
2020年		+ 4.5%	▲ 4.4%	+ 20.2%	+ 27.5%	▲ 1.0%	+ 6.1%	+ 12.0%

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ コンパクトトラックローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2019年		+ 4.6%	+ 6.4%	+ 9.9%	+ 9.2%	+ 5.7%	+ 7.1%	+ 7.7%
2020年		+ 2.2%	▲ 0.1%	+ 25.0%	+ 24.7%	+ 0.8%	+ 9.0%	+ 13.8%

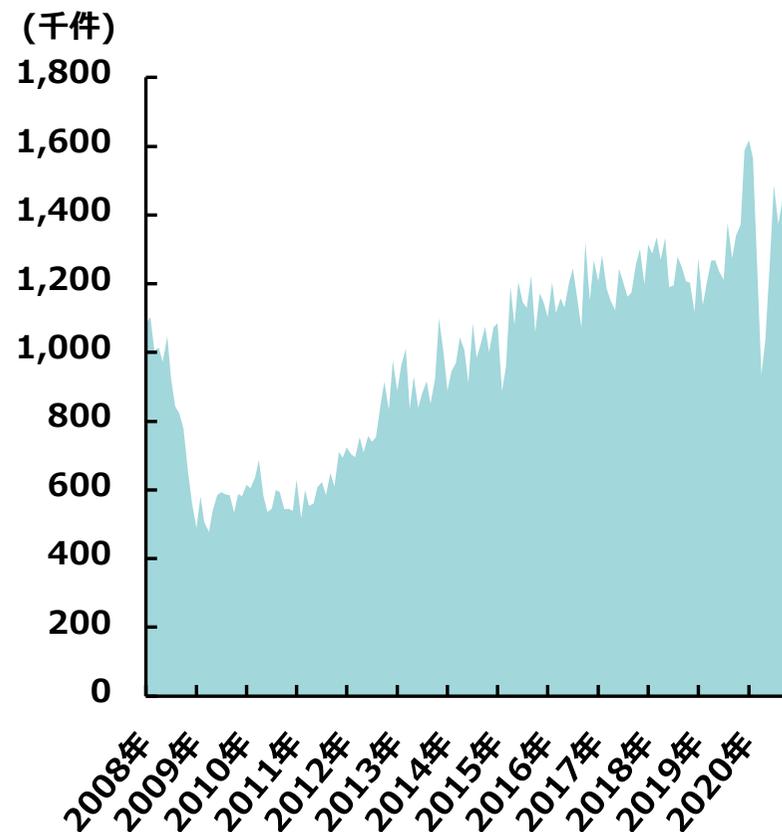
出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ スキッドステアローダ市場小売台数伸長率（前年同期比）

		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-6月	1-9月	1-12月
2019年		▲ 8.9%	▲ 9.1%	▲ 14.0%	▲ 1.2%	▲ 9.0%	▲ 10.6%	▲ 7.4%
2020年		▲ 10.9%	▲ 23.6%	+ 6.4%	▲ 0.8%	▲ 18.0%	▲ 10.4%	▲ 6.9%

出典：AEM（Association of Equipment Manufacturers）

■ 米国住宅着工件数（季節調整済・年率換算）



出典：米国国勢調査局（U.S. Census Bureau）

欧州

昨年の市場の落ち込みから回復し、トラクタ、建機、エンジンとも増収を見込む

トラクタ/小売

小型は、新型コロナウイルス感染拡大による影響から回復し、増加を想定。中・大型は、農業市場の先行き不透明感から昨年の落ち込みが大きかったため、大幅増を見込む

インプラント/卸売

中・大型トラクタ同様、穏やかな回復を想定

建機/小売

昨年大手レンタルメーカーによる買い控えから回復し、小売は微増を見込む

エンジン/卸売

昨年のOEM先の生産停止や建産機市場の低迷から回復することにより大幅増を想定

タイ・ 周辺国

**作物価格の安定、昨年の順調な降雨により需要は増加すると想定。
昨年前半の在庫調整の反動で卸売は小売以上に増加する見込み**

トラクタ/小売

水不足の解消や作物価格の高位安定継続により、需要は堅調に推移。小売は増加を見込む

コンバイン/小売

米価の高位安定により拡大基調が継続

建機/小売

地方での灌漑整備需要が底堅く推移し、増加を見込む

周辺国/小売

カンボジアのトラクタは、昨年の需要の落ち込みからの回復を想定。
ミャンマーは、需要拡大による増加を見込むものの、政情不安の影響を注視

中国

**中央政府農機購入補助金は、昨年の大幅な増加の反動で減少を見込む。
農機需要は昨年の増加の反動もあり、多くの製品で減少を想定**

コンバイン/小売

昨年の需要増の反動などにより需要は減少する見込み。当社は需要が増加傾向にあるキャビン付きの新製品投入により増加を見込む

田植機/小売

政府の機械化促進による乗用田植機の需要増が継続し、小売は増加する見込み

エンジン/卸売

発電機、フォークリフト等の需要増を取り込み増販を目指す

日本

トラクタは昨年の低迷から回復し、需要の増加を見込む。
コンバイン、田植機は前年並みを想定。
建機・エンジンについては回復を見込む

農機/小売

トラクタは、昨年の消費増税前の駆け込み需要の反動減からの回復や、新型コロナウイルス感染拡大の影響が軽減されることにより、増加する見込み。
一方でコンバインや田植機は回復が鈍く、微増を想定

建機/小売

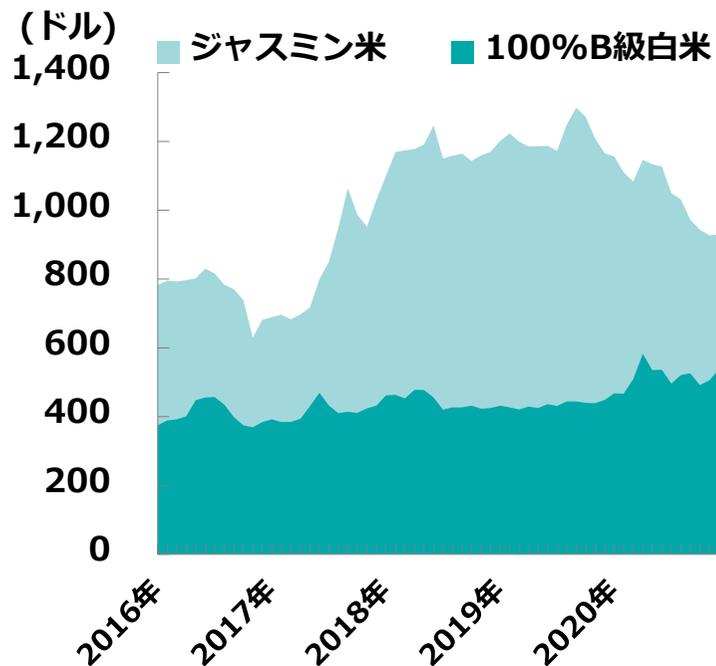
新型コロナウイルス感染拡大に伴う建設工事停滞による需要低迷からの回復を想定

エンジン/卸売

新型コロナウイルス感染拡大に伴うOEM先の減産などから回復し、増加を見込む

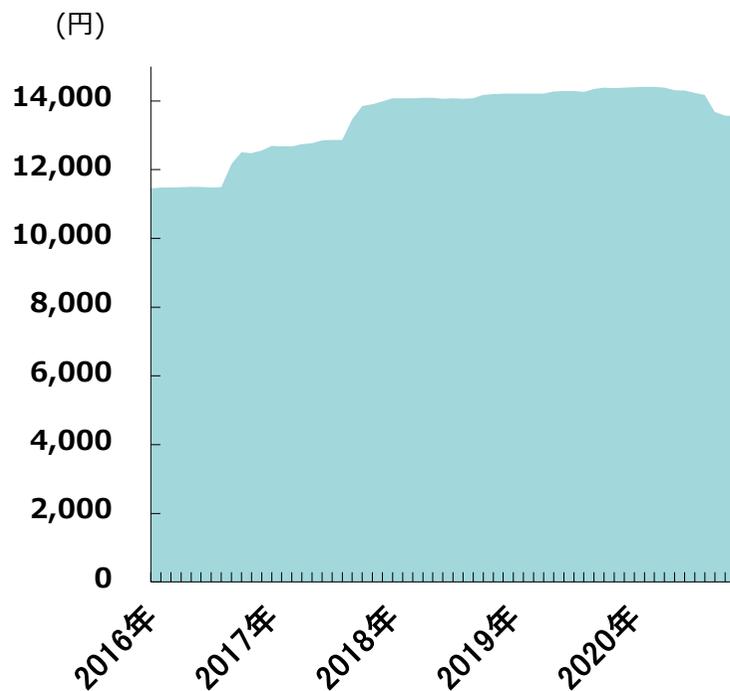
機械事業の動向（タイ・中国・日本） – 補足データ

■ タイ米輸出価格推移 ドル/トン



出典：米国農務省、タイ米輸出協会

■ 日本米の生産者価格推移 円/60kg



出典：農林水産省「農業物価統計調査」

■ 中国 中央政府農機購入補助金推移

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
補助金(億元)	第1次	130	200	170	210	228	186	186	180	169	140
	年間計	215	218	238	238	237	186	186	180	274	

業績予想

2021年12月期業績予想

For Earth, For Life


(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減		2021年12月期 2Q累計 (予想)
			金額	%	
売上高	20,500	18,532	+ 1,968	+ 10.6	10,400
国内	6,060	5,952	+ 108	+ 1.8	3,000
海外	14,440	12,580	+1,860	+ 14.8	7,400
営業利益	10.7% 2,200	9.5% 1,753	+ 447	+ 25.5	11.5% 1,200
税引前利益	11.0% 2,250	10.0% 1,859	+ 391	+ 21.0	11.8% 1,230
親会社の所有者に帰属する 当期利益	7.7% 1,580	6.9% 1,285	+ 295	+ 22.9	8.5% 880

事業セグメント別売上高予想

(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減	
			金額	%
機械	17,000	15,091	+ 1,909	+ 12.7
国内	3,000	2,929	+ 71	+ 2.4
海外	14,000	12,162	+ 1,838	+ 15.1
水・環境	3,200	3,158	+ 42	+ 1.3
国内	2,760	2,740	+ 20	+ 0.7
海外	440	418	+ 22	+ 5.2
その他	300	283	+ 17	+ 5.8
国内	300	283	+ 17	+ 5.9
海外	0	0	-	-
売上高合計	20,500	18,532	+ 1,968	+ 10.6

国内売上高	6,060	5,952	+ 108	+ 1.8
海外売上高	14,440	12,580	+ 1,860	+ 14.8

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた一部事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

為替の影響(▲200億円)を除くと、機械海外は+17%の増。海外売上全体は+16%の増

(億円)	2021年12月期 (予想)		2020年12月期 (実績)		増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
営業利益	2,200	10.7	1,753	9.5	+ 447	+ 25.5

営業利益 (+447億円) の増減要因

1.為替変動	米ドル(107円→105円 ※1) ユーロ(122円→125円 ※1) 他	▲105億円 +35億円 ▲20億円	▲90億円
2.為替差損益			▲20億円
3.原材料	機械(鋼材、関税、買入部品 他) 水・環境(スクラップ、コイル 他)	▲100億円 ▲30億円	▲130億円
4.インセンティブ率変動	北米▲98億円 欧州▲7億円 他		▲113億円
5.増減販			+650億円
6.製品値上げ			+120億円
7.その他			+30億円

※1: 但し、日本からの製品輸出にかかる輸送、在庫期間を加味した利益実現レートは、米ドル108円→105円、ユーロ121円→125円程度

事業セグメント別営業利益予想

(億円)		2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	増減
機械	売上高	17,000	15,091	+ 1,909
	セグメント利益	2,280	1,800	+ 480
	利益率	13.4%	11.9%	+1.5P
水・環境	売上高	3,200	3,158	+ 42
	セグメント利益	270	259	+ 11
	利益率	8.4%	8.2%	+0.2P
その他	売上高	300	284	+ 16
	セグメント利益	30	35	▲ 5
	利益率	10.0%	12.2%	▲2.2P
全社/消去	セグメント利益	▲ 380	▲ 341	▲ 39
計	売上高	20,500	18,532	+ 1,968
	営業利益	2,200	1,753	+ 447
	利益率	10.7%	9.5%	+1.3P

*社内組織の変更に伴い、従来「その他部門」に含めていた一部事業を2021年12月期より「機械部門」に変更。
この変更に伴い2020年12月期についても同様の分類に組替再表示しています。

■ 設備投資・減価償却費・研究開発費

(億円)	2021年12月期 (予想)	2020年12月期 (実績)	2019年12月期 (実績)
設備投資*	1,400	872	867
減価償却費*	610	532	489
研究開発費	610	553	531

* IFRS第16号「リース」の適用に伴う使用权資産の計上及び使用权資産に係る減価償却費は含まない

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

A young boy in a blue shirt and light-colored shorts is running through a field of tall grass. He is holding three balloons: one light blue, one orange, and one lime green. The sky is a vibrant blue with scattered white clouds. The overall mood is bright and hopeful.

ON YOUR SIDE

ご清聴ありがとうございました。

For Earth, For Life
Kubota